

## 単眼鏡のスペシャルサイト『単眼鏡が広げる美術鑑賞の世界』をオープン！

### 単眼鏡の新たな活用法を提案～美術作品の鑑賞～

株式会社ビクセンは、単眼鏡の魅力をお伝えする特設サイト『単眼鏡が広げる美術鑑賞の世界』を新たにオープンいたしました。

特設サイトでは、独自の切り口で美術の世界をわかりやすく、かつ楽しく紹介するアートテラー“とに～さん”に、単眼鏡を使ってより深く美術作品を鑑賞するコツをご紹介します。

小型軽量で持ち運びが便利な単眼鏡は、絵画に描かれた緻密なタッチを鑑賞したり、博物館のケースの中にある資料の小さな文字を読んだりするのにたいへん役立ちます。作品の細部まで見ることが可能になることで、肉眼で見た際には見つからなかった新しい発見につながります。

特設サイトでは、このように、さまざまな単眼鏡ならではの美術作品の楽しみ方を分かりやすく解説しています。

また、岡田美術館(神奈川県)で開催中の特別展「－生誕300年を祝う－ 若冲と蕪村 江戸時代の画家たち」(9月5日(月)～12月18日(日))で実施中の単眼鏡のレンタルにあわせ、特別展での単眼鏡を使った鑑賞のポイントもご紹介しています。この機会に、単眼鏡を使って美術の世界を“のぞいて”みるのはいかがでしょうか。



#### 単眼鏡が広げる美術鑑賞の世界

美術鑑賞をより楽しむために欠かせないアイテム、それが単眼鏡です。単眼鏡で美術作品を鑑賞する最大のメリットは、絵画や工芸の細部に集まる美しさを拡大して堪能できること、それらの美は、肉眼では決して味わうことが出来ません。今回アートテラー・とに～さんが単眼鏡が広げる美術鑑賞の世界にご案内します。



解説者プロフィール  
アートテラー・とに～

1983年生まれ。千葉大学法経学部法学科卒。元西本興業のお笑い妻人。芸人活動の傍ら趣味で書き続けていたアートブログが人気となり、現在は、独自の切り口で美術の世界をわかりやすく、かつ楽しく紹介する「アートテラー」として活動。美術館での公式トークイベントでのガイドや美術講座の講師、アートツアーの企画運営など幅広く活躍中。  
アートブログ <http://ameblo.jp/airtony/>

#### 手に取るように鑑賞出来る



単眼鏡が特にその威力を発揮するのは、日本美術の鑑賞においてです。

作品と一定の距離を置いて鑑賞することで初めて、様々な色彩を感じる事ができる西洋的印象派の絵画とは違い、掛け軸や屏風、襦袢、巻物などの日本の絵画作品は、手に取って鑑賞されることを前提にして描かれています。つまり、展示ケースを挟んで50cm以上の距離が開いてしまえば、絵師た

#### ◆単眼鏡が広げる美術鑑賞の世界

<http://www.vixen.co.jp/lp/monocle/index.html>

#### ビクセン web サイト

<http://www.vixen.co.jp>

#### <株式会社ビクセン 会社概要>

代表取締役 新妻和重

創業 1949年 本社 埼玉県所沢市

天体望遠鏡、双眼鏡、顕微鏡、フィールドスコープ、ルーペなどの設計、製造を行う光学機器メーカー

<本件に関するお問い合わせ>

株式会社ビクセン

企画部 都築(つづき)・藤田(ふじた)

TEL 04-2944-4000 FAX 04-2944-4045

Email [tsuzuki@vixen.co.jp](mailto:tsuzuki@vixen.co.jp)・[fujita.a@vixen.co.jp](mailto:fujita.a@vixen.co.jp)